



# MAGNUM PLUS 操作方法

## 1. 運転 ・ 停止

ONキーを2秒押すと**始動**します。



OFFキーを2秒押すと**停止**します。

## 2. 設定温度の変更

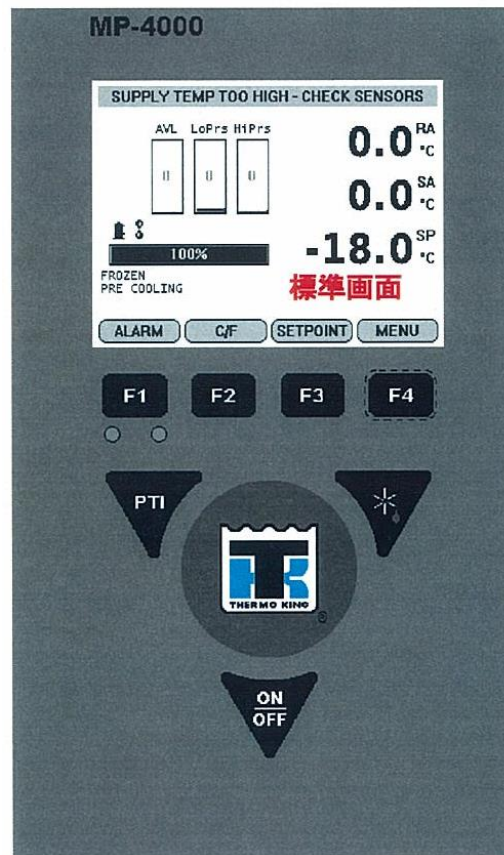
F4キーを押して右図のような標準画面にします。F3キー (SETPOINT)を押して設定温度の変更画面にします。

F2がUP、F3がDOWNとなりますので希望の温度に変更をしF4を2秒押して決定します。

**注意：温度表示単位の“F”と“C”の確認を必ず行ってください。誤った温度表示から荷物の凍結に繋がる恐れがあります。**

**標準画面からF2を長押しすると摂氏と華氏の表示固定が出来ます。**

**-18.0<sup>SP</sup> °C**



## 3. マニュアルデフロスト

エバポレータコイル温度が18℃以下の場合であれば実行可能です。



・デフロストは自動で終了します。

デフロストキーを押してSTART DEFROSTを選択するとデフロストがスタートします。  
※デフロスト中は温度が上昇しますがエバファンが停止し庫内が上昇するものではありません。

## 4. PTI (プレトリップテスト)

冷凍機を始動します。PTIキーを押して実行したいPTI項目を下図の中から選択、実行します。BRIEF PTIを推奨

Tasting : テスト中 Pass : 合格

Fail : 失敗 Skipped : スキップ



## タッチキーとアイコンの説明



ON/OFFキー



F2キー



PTIキー



F3キー



デフロストキー



F4キー



F1キー



アラーム



PTIテスト中



加温



エバファン高速



除湿



デフロスト



コンデンサファン作動



コンプレッサ無負荷



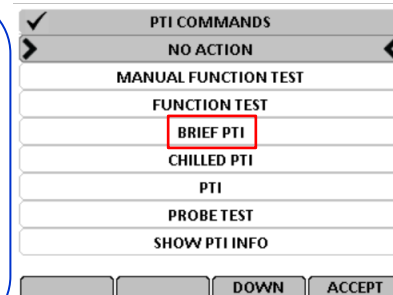
リキットバルブ作動、コンプレッサ動作



コンプレッサフルロード



エバファン低速





# MAGNUM PLUS 操作方法

## 5. アラームが点灯したら...

ディスプレイに顔のアイコンを表示させユニットの状態を表示します。(下図参照)

変化があった場合アラームの確認を行います。

※アラーム番号は消去前に記録してください。

F4を押しメニューリストを表示させ  
F3 (DOWN)を押してカーソルをALARMの項目に移動させF4を押し選択します。

アラーム番号の確認をしてそのアラームを解消をしF4 (ACK) を“NO ALARM”になるまで押します。



アラーム点灯がなく正常運転

メッセージの点灯がありますが  
運転はしています

アラームの点灯がありユニットが停止

### MAGNUM+ 警告コード

警告コード	説明
1	電源エラー、20Aヒューズのチェック
2	ハイプレッシャ カットアウトスイッチ 作動
3	プローブ テスト
7	ハイプレッシャ カットアウトスイッチ 作動
9	ハイプレッシャ カットアウトスイッチ 作動
11	スクロールコンプレッサ 高温
12	スクロールコンプレッサ 低圧低下
21	合計電流量 高過ぎ
22	合計電流量 低過ぎ
23	吐出温度 高過ぎ
24	吐出温度 低過ぎ
25	吸入温度 高過ぎ
26	エバポレータコイル温度 高過ぎ
27	エバポレータコイル温度 低過ぎ

### MAGNUM+ アラームコード

アラームコード	種類	説明
00	チェック	吹出しセンサー回路断線
01	チェック	吹出しセンサー回路短絡
02	チェック	吸入センサー回路断線
03	チェック	吸入センサー回路短絡
04	チェック	エバポレータコイルセンサー断線
05	チェック	エバポレータコイルセンサー短絡
06	チェック	コンプレッサの電流が高過ぎ
07	チェック	コンプレッサの電流が低過ぎ
10	チェック	ヒーターの電流が高過ぎ
11	チェック	ヒーターの電流が低過ぎ
12	チェック	エバポレータファン高速時の電流が高過ぎ
13	チェック	エバポレータファン高速時の電流が低過ぎ
14	チェック	エバポレータファン低速時の電流が高過ぎ
15	チェック	エバポレータファン低速時の電流が低過ぎ
16	チェック	コンデンサーファンの電流が高過ぎ

### MAGNUM+ アラームコード

アラームコード	種類	説明
17	チェック	コンデンサーファンの電流が低過ぎ
18		供給電源の相エラー
19	チェック	庫内温度が設定温度から離れすぎ
20	チェック	デフロスト時間が長過ぎ
22	チェック	能力テスト1をチェック
28		エコマイザーバルブをチェック
31		低圧圧カスイッチをチェック
32	チェック	コンデンサー吸入温度センサー断線
33	チェック	コンデンサー吸入温度センサー短絡
34	チェック	外気温度センサー断線
35	チェック	外気温度センサー短絡
43	チェック	吸入温度センサー高過ぎ
51	チェック	電圧低下
52	チェック	調査不良
53	チェック	ハイプレッシャーカットアウトスイッチオフエラー
54	チェック	ハイプレッシャーカットアウトスイッチオンエラー
56	シャットダウン	コンプレッサ温度高過ぎ
58	チェック	位相センサーをチェック
59	チェック	デルター回路をチェック
60	チェック	湿度センサーをチェック
98		コンプレッサセンサー回路短絡
119		デジタルコントロールバルブ不良
120	チェック	サクションプレッシャーセンサー
121	チェック	ハイプレッシャーセンサー
122		O.センサー再キャリブレーション
123	チェック	データロガーバッテリー
124	チェック	電源モジュールセンサー
128	チェック	吐出温度調査
129	チェック	吸入温度調査
130	チェック	エバポレータコイル温度調査
131		コンデンサー温度調査エラー